第3回東海市公の施設の指定管理者選定委員会会議録

日 時 令和6年（2024年）8月26日（月）

午前9時30分から午前10時35分まで

会 場 庁舎501会議室

出席者 委員：鈴木健司委員長、加藤知子職務代理、鈴木順子委員、
松田剛委員、渡邊和夫委員

こども課：永井こども課長、臼井統括主任、堤統括主任

高齢者支援課：池田高齢者支援課長、佐治主幹、池田主事

事務局：加藤企画部次長、中島企画政策課長、稲葉統括主任、
江端主事補

欠席者 委員：なし

公開の可否 公開

傍聴者 なし

（内容）

1 開会

2 令和5年度（2023年度）施設の管理運営状況の評価について

(1) 東海市立養父児童館、東海市立養父健康交流の家

施設担当課（こども課・高齢者支援課）より資料に基づき管理運営状況の評価
について説明

[審査にかかる主な意見・質疑]

委員長：芋ほりは園内で実施しているのか。

こども課：園内で実施している。

職務代理：開館日数が計画に対して2日少なくなったのはなぜか。

こども課：暴風警報が発令したことにより、臨時休館とした。

鈴木委員：3ページ※3事業収支(1)収入⑥その他が令和4年度と比較して大幅
に減っているのはなぜか。

こども課：令和4年度は、光熱水費の高騰に対し、内部留保を活用して補填したためである。

[審査結果]

総合評価：B

(2) 東海市立千鳥健康交流の家

施設担当課（高齢者支援課）より資料に基づき管理運営状況の評価について説明

[審査にかかる主な意見・質疑]

委員長：計画よりも開館日数が少なくなったのはどのような理由からか。

担当課：人員不足によるものである。

職務代理：1 ページ I 履行の確認 1 施設全般の管理運営に関する業務(1)職員配置について、人員不足で2日休館しているが、なぜB評価なのか。

担当課：人員が不足した理由が体調不良によるものであるため、職員配置に問題はないと考えている。

職務代理：利用満足度のアンケート調査は、何人から回答をいただいたのか。

担当課：20人から回答をいただいた。

鈴木委員：人件費が令和4年度と比較して増加しているが、どのような理由からか。

担当課：慢性的な人員不足が課題となっていたが、令和5年度より人員を増加することができ、適正な人員を確保することができたため、人件費が増加している。

渡邊委員：指定管理者が地縁団体であり、苦勞の多い中運営をしていただいているため、総合評価がDとなってしまうのは非常に残念だと考える。

担当課：総合評価に関しては、2 ページ下部の《評価区分》に基づき実施しているため、D評価となってしまった。

委員長：指定管理者の努力が少しでも伝わるように、コメント欄で補記すると良いと考える。

松田委員：光熱水費を計画よりも安く抑えているが、何か工夫をしていたのか。

担当課：こまめに電気を消す等していた。

松田委員：無理のない範囲で引き続き節約に努めていただきたい。

鈴木委員：一般家庭では、国からの電気代等の支援があったが、公共施設も支援の対象となっていたのか。

事務局：お調べして次回会議の際にお伝えする。

委員長：1 ページ I 履行の確認 3 保守点検並びに清掃業務等(3)修繕業務が「-」となっているのはなぜか。

担当課：修繕業務が発生しなかったためである。

委員長：他の施設の表記と合わせる必要があるが、修繕業務が発生しない状況で運営をしているという観点から、B評価としても良いのではないか。

事務局：調整させていただく。

委員長：3 ページ※3 事業収支(1)収入②指定管理料の備考に「R 4 年度、R 5 年度光熱費高騰分」とあるが、光熱水費の支出計画を上げるわけではないのか。

事務局：年度途中で光熱費高騰対策ということで指定管理料を増額したため、指定管理料の収入が増えている。各年度の支出計画については、年度当初に計画したものであり、年度途中での修正はしていない。

[審査結果]

総合評価：D

(3) 東海市立大池健康交流の家

施設担当課（高齢者支援課）より資料に基づき管理運営状況の評価について説明

[審査にかかる主な意見・質疑]

職務代理：1 ページ I 履行の確認 3 保守点検並びに清掃等業務等(3)修繕業務について、「-」となっているが、4 ページ※事業収支の支出④修繕費

の備考欄には、消火器更新、掃除機修理とあり、14,360円の支出がある。また、9ページ修繕の計画分と計画外は共に未実施となっているが、計画外の8月には消火器更新、3月には掃除機修理と記載があるため、考え方を整理してはどうか。

鈴木委員：消火器更新は保守点検に入れても良いのではないか。

委員長：評価に影響する部分ではないため、ネガティブな問題ではないが、考え方を整理していただきたい。

担当課：対応させていただく。

委員長：1ページI履行の確認1施設全般の管理運営に関する業務(2)職員研修について、他の健康交流の家と意見交換を実施したとの事でA評価となっているが、他の健康交流の家はB評価となっている。これはどのような判断か。

担当課：意見交換を年に1回実施しており、その中で得た情報を日頃の業務に反映していただいている。その上で、どの程度の業務改善を見込めたかに関しては、指定管理者の評価を尊重しているため、各健康交流の家で評価にばらつきが出たものである。

委員長：各健康交流の家が同じように意見交換を実施しているため、所管評価は均一にA評価でも良いと考える。令和6年度以降の評価の際には検討していただきたい。

担当課：検討させていただく。

鈴木委員：1ページI履行の確認1施設全般の管理運営に関する業務(1)職員配置が令和4年度はA評価なのに対し、令和5年度にはB評価となっている。これは、配置の変更を余儀なくされたことが原因か。

担当課：その通りである。大池健康交流の家に限らず、各健康交流の家で人員不足の問題が発生している状況である。

鈴木委員：令和4年度から約3,000人利用者が増えた中、人員減の中でも対応したという観点から、A評価でも良いと考える。

事務局：3ページ《評価区分》に基づき評価をするため、人員配置が協定書

の水準以上でないと A 評価とはならず、協定書の水準通りであれば B 評価となる。

[審査結果]

総合評価：B

3 その他

渡邊委員：各健康交流の家の職員の高齢化の問題について、指定管理者へ丸投げするのではなく、行政がある程度介入し、共に問題解決に向けた対応をしてはどうか。また、指定管理施設で働く職員の給料はどのように決めているのか。

事務局：指定管理料の積算をする際に職員の給料に関しても積算している。

委員長：最終判断は指定管理者になると思うが、地域の中で施設の運営に携わってみたい方がいれば、行政から紹介するのも1つの方法なのではないかと考える。

4 今後の予定について

令和6年（2024年）8月30日（金）午前9時30分から

市役所301会議室

5 閉会